

クラスの様子（3月号）

- ひよこ組 今月の目標：一年間の成長発達を振り返り、進級に向けて、ひとりひとりの子どもの生活の場が広がるようにしていく。

保育参加では、お忙しい中、ご出席頂きましてありがとうございました。前回の保育参加とは、また違った顔や成長を見ていただけたのではないかと思います。私達も子ども達がお父さんやお母さんと接している時の普段とは違った顔が見れたので、とても新鮮な気持ちになりました。

普段出来ているのに興奮して出来なかった子、いつも以上に張り切ってはしゃいでいる子、大勢の人の中、いつもと雰囲気が違うので泣いてしまう子などいましたが、大きな部屋に大きな布を広げると皆が大喜びでした。本当に素敵な笑顔を見ることが出来ました。これからもこの笑顔をたくさん引き出せるような保育をしていきたいと思ひます。



（志賀）

- りす組 今月の目標：移行に向け、新しい環境に慣れる。

2月3日は節分にちなんで、新聞紙を丸めてボールにし鬼に向かって投げ、豆まき気分を味わいました。「おにさん、こわい」と保育士のそばに来る子や、「おにはそと〜」と頑張って鬼退治をしました。りす組で過ごす日々も残り一か月となりました。うさぎ組への進級に向け、少しずつ新しい環境に慣れていってほしいという思いから、うさぎ組に遊びに行ったり、一緒に散歩に行ったりするなどの活動を取り入れています。少し緊張する姿もありますが、お部屋を探索した

り、見慣れない玩具に興味を示し遊ぶ姿がありました。新しい環境に慣れるのは大変なことです。子ども達の気持ちにしっかり寄り添いながら、うさぎ組に進級するという期待がもてるような楽しい時間を過ごしていきたいと思ひます。

（柴田）



- うさぎ組 今月の目標：来年度に向けてゆっくりと環境に馴染み、安心して過ごす中で異年齢の子との関わりを持つ。

うさぎ組ははじめてのおゆうぎ会で緊張もありましたが、一人ひとり一生懸命取り組むことができ、また一つ大きく成長した姿を見て頂けたと思ひます。お家の方をはじめ、たくさんの人に褒めてもらい、子どもたちも大きな自信につながったようです。もう少しで年少組になります。うさぎ組での時間を大切にしながら移行に向けて丁寧に生活を繰り返し、異年齢クラスに馴染んでいけたらと思ひます。

（平塚・谷口）



クラスの様子（3月号）

さくら組

2月13日のおゆうぎ会は、クラスの皆で取り組みました。一つひとつ楽しみながら練習を重ね、大きな舞台でも一人ひとりが個々の頑張りを発揮していたと思います。チームごとに演じる中で異年齢の温かい関わり、新しい繋がり（子ども同士の関係）も広がり深まっていったと思います。4月から共に生活してきた子ども達。年上の子ども達にお世話をしてもらっていた年少児が、見て・真似て・成長し、自分の事を自分でしたり、友だちを気遣う事が出来る様になったり、お世話をする中で年中・年長児も成長していったと思います。2月の最終の週から年齢別の生活が始まりました。今迄の生活は子ども達にとって大きな成長に繋がっていると思います。



今後は、新年度に向けて一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

（伊達）

くぬぎ組

おゆうぎ会では今まで練習してきたことを自分なりに発揮してくれた子どもたち。緊張しながらも一人ひとりがしっかりと舞台に立つ姿にとっても大きな成長を感じました。

一年間を通して様々な経験、体験を重ね、一人ひとりが一回りも、二回りも大きくなりました。また色々な人と関わり、楽しさや嬉しさ、悲しさを感じることで心の成長も出来たのではないかと思います。くぬぎぐみで過ごした一年間を今後の自信につなげ、また大きく成長してくれることを願っています。

（田中）



とちのき組

先月はおゆうぎ会がありました。劇の練習を始めた当初は台詞を言うのが恥ずかしい子、動きを覚えるのに苦戦する子など、姿は様々でした。そんな子ども達も練習を重ねるごとに頑張るお友だちの姿に刺激を受けたり、毎日の練習目標に向かって取り組む中で当日へ向けての気持ち作りも出来ていたように思います。当日は大舞台に立ちどの子も本当によく頑張っており成長を感じました。みんなで一丸となって出来て本当によかったと思います。3月は、年齢別保育になりますが、今まで積み重ねてきた経験を大切にしていきたいです。

（穴澤）

